

国産畳表への熱い思い

皆さんは畳というところどんなイメージをお持ちですか？。畳といえば日本発祥の物、そして「い草」を使った天然素材の建築材を連想すると思います。しかし、今その国産「い草」を使った畳表が消滅の危機に立たされている。

畳全体の需要に占める割合の第一位は約50%の中国産、そして第二位が約30%の科学素材で作られた人工畳表、残り僅かの約20%が国産畳表となります。

天然素材の代表格である畳は外国産と人工素材によって占められています。

現状を打開し高品質な国産

畳表を残さないといけないうる思いを持った全国の畳職人が国産畳表の95%超を生産する熊本県八代のい草農家さんを訪ね、研修を受けて天然素材の国産畳表をより深く学び消費者に伝えようとの動きがあります。

7年前から通い始め、今年も2回訪問。熊本にい草がある限り、畳職人である限り、い草農家さんの熱い思いを伝える為に、これからも熊本に通い続けたいとのこと。

い草には、芳香性、保温、断熱性、空気の浄化、抗菌効果などの力もあります。フローリングの部屋にも使える和紙

表の畳、半畳（へり無し）で市松模様になくタイプ畳もあり、豊富なカラーバリエーション、フローリングとの相性も抜群です。

高い志を持った松葉さん、確かな技術と豊富な知識、これからの畳替えシーズンには、相談されてはいかがですか。

松葉製畳、2代目松葉清幸

厚生労働省ものづくりマイスター認定・畳製作1級技能士

品質管理認定の店 森下町

電話32の5243（谷

電話32の5243（谷

